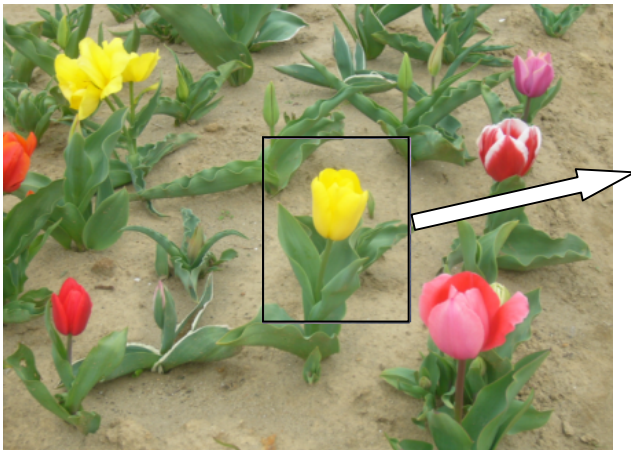


易しい画像ソフト(IrfanView)・その2

前回の学習では画像ソフト「IrfanView」のダウンロードと、リサイズやトリミングを行ないましたが、ここでは更に、明るさやコントラスト、色の調整など、もう少し詳しく使い方を学習しましょう。

1. 画像ソフト「IrfanView」の起動：デスクトップのアイコン「i_view32」をダブルクリックし起動します。
2. 画像ファイルを開く：「ファイル」「開く」から、編集したい画像ファイルを開きます。または、1の代わりに「エクスプローラ」を起動して目的の画像ファイルを探し、その画像ファイルをダブルクリックしてもOKです(但し、あらかじめIrfanViewの「関連付けの設定」をしておく必要があります)。
3. 画像の「コピー」と「貼付け」：画像の一部分をマウスでドラッグすると下図左のような矩形が表示されます。「コピー」アイコンをクリックし、そのままエクセルやワードなどの文書ファイルに「貼付け」をすると、矩形で囲まれた範囲の画像部分をワードやエクセル文書にコピーすることができます。(左のデジカメ写真の例では、中央の黄色のチューリップ部分のみがコピーされる)

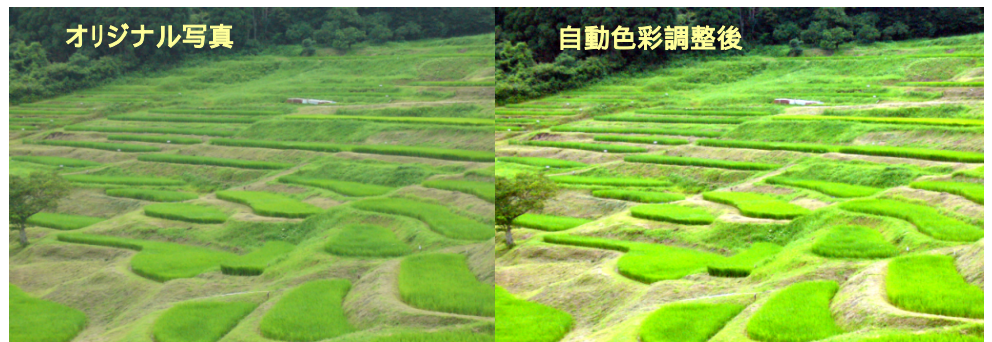


表示されます。「コピー」アイコンをクリックし、そのままエクセルやワードなどの文書ファイルに「貼付け」をすると、矩形で囲まれた範囲の画像部分をワードやエクセル文書にコピーすることができます。(左のデジカメ写真の例では、中央の黄色のチューリップ部分のみがコピーされる)

4. 画像の「自動色彩調整」：画像の色彩が薄い場合は「自動色彩調整」が有効です。

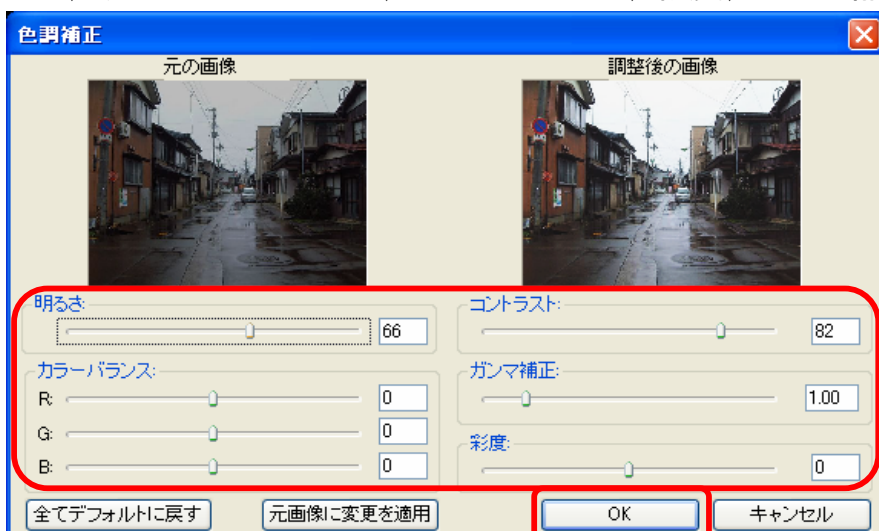
「画像」「自動色彩調整」をクリックします。

調整後の画像を保存する場合は、「上書き保存」ではなく「名前を付けて保存」で、別名で保存しましょう。



5. 画像の「色調補正」：ソフト「IrfanView」で画像を開いた状態で、「画像」「色調補正」とすると、明るさやコントラスト、カラーバランス、彩度、ガンマ補正などを手動で細かく調整することができます。

コントラストと明るさ調整だけではうまく行かない場合、ガンマ補正を使うと調整し易くなります。



このスクロールバーを左右に動かして、画像の明るさやコントラスト、色具合などを調整します。「調整後の画像」の箇所の画像を見ながら調整を行い、「OK」をクリックします。

6. 画像の回転、反転: デジカメ写真などでは画像を90度回転したいことがよくありますが、「画像」 「左回転」または「右回転」をクリックすることで、簡単に90度回転できます。また、微妙な角度だけ回転したい場合には、「画像」 「カスタム回転」として、回転角度を入力すると指定角度だけ回転します(右図)。左回転させるには角度をマイナス値にします。画像を左右反転したり上下反転したい場合は、「画像」 「左右反転」や「上下反転」とします。



7. 画像をシャープにする: 「画像」 「シャープ」とマウスをクリックすると、表示中の画像が鮮明になります。もし輪郭がきつくなって画質がおかしくなる場合は、「元に戻す」のアイコンで元に戻します。 「縁の追加」+「フィルタ/立体」



8. 画像に縁を付ける: 「画像」 「縁の追加」とクリックすると縁の巾と色を指定する画面が現れるので上下左右の縁巾を指定し「Choose」から縁の色を指定し「OK」とします。

9. フィルタで特殊効果: 「画像」 「フィルタ」とすると、いろいろな効果を出すことができます。



10. 画像を壁紙にする: 画像を開いておいてから「オプション」 「壁紙にする」とクリックすると、表示中の画像をパソコンデスクトップの壁紙にすることができます。

11. スライドショー: 「ファイル」 「スライドショー」とクリックすると、「スライドショー」を設定する画面が開きます。ここで画像を選択してスライドショーに「追加」してから、「実行」をクリックすると、選択画像を使用したスライドショーになります。画像は異なるフォルダからも選択可能です。